

仏教史研究



二〇一七年一月刊行

ハンドブック

佛教史学会編

◆A5判・並製カバー・四〇〇頁・二、八〇〇円十税

インド、アジア諸国・地域、中国、

朝鮮半島、日本の仏教の歴史文化に

関する研究テーマを広く見渡して一

冊にまとめた便利でコンパクトな入

門書。仏教史を学び始めたい人、幅

広く知りたい人に最適！

【本書の特色】

- ・仏教史を学ぶ上で重要な課題を見開きで表示。
- ・研究の概要を一望できるコンパクトな解説。
- ・今後の課題と展望をわかりやすく説明。
- ・研究に必要な先行研究を掲載。

6 第2部 中国・朝鮮・中国

3 雲崗石窟・龍門石窟

● 定義・内容

雲崗・龍門石窟は、北魏時代（386-534）に開鑿された仏教石窟で、いずれもユネスコ世界遺産に登録されている。

重要なキーワードがひとめでわかる 西1 kmにわたり45窟を有し呼ばれた。その歴史は、北魏（386-534、→第2部1章3節1）文成帝の460（和平元年）に、僧官のトップである沙門統の曇曜が、当時の都平城の西の武州塞において、各窟に大仏を彫り出すよう奏請したことに始まる。これがいわゆる曇曜五窟であり、太武帝による廃仏後の仏教復興のシンボリック的存在であった。以降も石窟の開鑿は続いたが、おおよそ正光年間（520-525）に窟の開鑿はほぼ終了する。

龍門石窟は、河南省洛陽の南約12km、南から北へと流れる伊水の兩岸（東山と西山）に開かれた石窟である。雲崗とは異なり唐代にも盛んに造像活動が行われ、現存窟龕は約2,350、造像記は2,800点余りも存在する。この地は古くより「伊闕」と呼ばれ要衝の地であった。最も早く開かれたのは古陽洞であり、5世紀末、北魏王朝が平城から洛陽へと遷都した前後に開鑿された。古陽洞開鑿に関わった主要人物の一人とされる比丘慧成の造像記は、書道の世界では「始平公造像記」として有名である。次いで開鑿されたのは、宣武帝が孝文帝と文昭皇太后のために開鑿した二洞と、やや遅れて宦官劉騰が宣武帝のために開鑿した洞よりなる賓陽三洞である。中洞は北魏時代に完成したが、南北二洞は工事が中断された。北魏王朝の東西分裂以後も細々と造像活動は続いたが、それが再び活発になったのは唐の640年代頃からである。この頃、賓陽南洞が完成されたことは、褚遂良の書で有名な「伊闕仏龕之碑」の記録などからわかる。660年代には、太宗の妃であった紀国太妃章氏によって「敬善寺洞」が開鑿された。また、現在龍門石窟のシンボルとなっている奉先寺洞の盧舎那大仏は、高宗の皇后武氏（後の則天武后）が化粧料二万貫を喜捨し、浄土教の祖師導師も模範僧としてその造営に関わり、675（上元2）年に完成した。以後は、万仏洞、極南洞が開鑿され、東山側では、高平郡王洞、看經寺洞、擂鼓台三洞などが開鑿されたが、主要な造像活動は8世紀前半に終焉を迎えた。



図1 雲崗第20窟（田林啓氏提供）

● 基礎史料・研究状況・課題と展望

雲崗石窟の開鑿には、北魏帝室が関与しており、「皇帝即如来」の思想との関係、孝文帝の漢化政策と造像様式の中国化との関係など、興味深い研究テーマはつきない。雲崗石窟の研究に

図版も豊富！！

注文書

(書店印)

ご担当

様冊

法蔵館

二、八〇〇円十税

住所

佛教史学会編

仏教史研究 ハンドブック

お電話

お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教

仏教史研究 ハンドブック「目次」

第1部 第1章 インド

総説

第1節 初期仏教
部派仏教
1 教団の分裂／2 阿含とニカーヤ／3 アビダルマ

第3節 仏伝文学・仏教説話
初期大乘経典

第5節 中・後期大乘経典と密教経典
1 涅槃経と如来藏系経典／2 大日経・金剛頂経など密教経典

第6節 大乘諸学派
1 中観学派／2 瑜伽行唯識学派・仏教論理学派

第7節 仏教遺跡・仏教美術
1 仏塔・石窟寺院／2 仏像の起源とその展開

特論 インド仏教研究における梵文写本の資料的価値
参考文献／コラム ブッダの生涯

第1部 第2章 アジア諸国・地域

総説

第1節 中央アジア
1 中央アジア地域における仏教

第2節 チベット
1 仏教の伝来と受容の歴史／2 仏教文化（チベット・モンゴルの仏教美術）／3 ボン教の歴史的概要

第3節 スリランカ
1 仏教の受容と展開／2 仏教寺院（遺跡）

第4節 ミャンマー（ビルマ）
1 仏教の受容と展開／2 仏教寺院（遺跡）

第5節 タイ
1 仏教の受容と展開／2 仏教寺院（遺跡）

第6節 カンボジア
1 仏教の受容と展開／2 仏教寺院（遺跡）

第7節 インドネシア
1 仏教の受容と展開／2 仏教寺院（遺跡）

第8節 ベトナム
1 仏教の伝来と受容の歴史／2 仏教寺院（遺跡）

基礎資料・参考文献／コラム ウイグル仏教

第2部 第1章 中国

総説

第1節 仏教の伝来と展開
1 訳経事業／2 経録

第2節 国家と仏教
1 崇仏の皇帝たち／2 教団の統制／3 仏教弾圧／4 教団の自治

第3節 非漢族政権と仏教
1 北魏／2 契丹（遼・金）／3 モンゴル・元

第4節 活躍した僧たち
1 中世（1）隋代まで／2 中世（2）唐代／3 近世 宋・元代

第5節 社会のなかの仏教
1 法会と在俗信仰組織／2 民間信仰

第6節 大蔵経
1 大蔵経通史／2 大蔵経の種類

第7節 石窟寺院
1 中国の仏教石窟／2 敦煌／3 雲岡石窟・龍門石窟

第8節 仏教史料
1 仏教史書／2 石刻／3 文物

基礎資料・参考文献／コラム 西夏と仏教／コラム 中国浄土教思想史

第2部 第2章 朝鮮半島

総説

第1節 朝鮮仏教通史
1 古代三国・統一新羅時代／2 高麗時代以降

第2節 朝鮮仏教の独自性
1 正統と異端／独自性

第3節 国外との関係
1 新羅以前のインド・中国・日本との交流／2 高麗と宋・契丹・元・日本

第4節 国家と仏教（護国仏教）
1 古代／2 高麗時代の国家が行う仏教儀礼

第5節 他宗教との関係
1 古代における儒教・道教等との関係／2 朝鮮時代の仏教弾圧／3 近代における他宗教（キリスト教）との関係

第6節 仏教文化（仏教美術）
基礎資料・参考文献／コラム 中国・朝鮮半島の近代仏教史

第3部 第1章 日本古代

総説

第1節 仏教の伝来と受容
1 飛鳥仏教の展開／2 古代寺院の造営と東アジア

第2節 奈良仏教
1 僧尼令とその実態／2 国分寺・国分尼寺の建立と大仏造立／3 行基と行基信仰／4 出家と得度と受戒／5 僧尼身分と僧位僧官

第3節 平安仏教
1 最澄・空海と「平安仏教」／2 宗の成立と展開／3 大寺・定額寺から御願寺へ／4 法会とその歴史的展開

第4節 日本古代史と仏教史料
1 正倉院文書と奈良仏教／2 仏教説話集の世界／3 出土文字資料と古代寺院／4 仏教文物と古代仏教史

第5節 古代仏教とその周辺
1 神仏習合／2 仏教と諸宗教／3 御霊信仰／4 対外交流と仏教／5 日本外交と僧侶／6 聖の原像と展開／7 女性と仏教

基礎資料・参考文献

第3部 第2章 日本中世

総説

第1節 中世国家と仏教
1 院政と仏教／2 寺社勢力の展開／3 顕密体制論／4 諸国一宮制／5 室町仏教／6 戦国仏教

第2節 中世の仏教思想
1 浄土教／2 専修念仏／3 法華／4 禅／5 南都仏教の展開と律宗／6 本覚思想／7 中世神道説と神国思想

第3節 中世仏教と東アジア
1 五山僧／2 渡来僧と外交／3 經典の輸入——大蔵経を中心に——中世の信仰世界

第4節 本尊（信仰対象の多様化）／2 靈場・寺社参詣／3 葬送・墓制・追善／4 修験道と仏教／5 女性と仏教

第5節 中世の仏教文化
1 經典・聖教／2 板碑・石仏／3 起請文・願文／4 五山文学／5 寺社建築／6 法会・音楽・声明・唱導／7 仏教と芸能／8 仏教美術

基礎資料・参考文献／特論 吉田神道／コラム 一向一揆・寺内町

第3部 第3章 日本近世

総説

第1節 国家と仏教
1 織豊政権期の仏教／2 朝廷・公家社会と仏教／3 幕府の宗教政策／4 徳川と仏教／5 藩と仏教

第2節 諸宗派の動向
1 南都・律／2 天台宗／3 真言宗／4 禅／5 浄土／6 日蓮宗・法華宗／7 時宗／8 浄土真宗／9 修験

第3節 社会と仏教
1 都市社会における仏教／2 寺社参詣／3 勧進／4 葬送文化／5 女性と仏教／6 被差別民・差別と仏教

第4節 仏教の学問・知識
1 仏教治国論／2 書物と仏教知／3 寺院縁起と由緒書上

第5節 諸思想・諸宗教と仏教
1 神道と仏教／2 儒教と仏教／3 キリスト教と仏教／4 異端的宗教／5 民衆宗教

基礎資料・参考文献／特論 科学と仏教

第3部 第4章 日本近代

総説

第1節 国家と仏教
1 廃仏毀釈／2 天皇制と仏教／3 国家神道と仏教／4 宗教行政／5 従軍布教

第2節 近代的知と仏教
1 近代仏教学・近代仏教史学／2 仏教系教育機関／3 メディア

第3節 異文化接触
1 キリスト教と近代日本／2 仏跡巡礼と遺跡調査・探検／3 来日仏教徒／4 海外布教（ハワイ・北米開教）／5 海外布教（アジア）

第4節 社会と仏教
1 戒律／2 仏教改革運動（その1）／3 仏教改革運動（その2）／4 社会主義／5 女性と仏教／6 民間信仰と仏教／7 社会福祉／8 差別と仏教／9 仏教系新宗教／10 仏教系NGO／11 平和運動

第5節 文学・芸術と仏教
1 近代日本における仏教と文学／2 仏教と美術／3 仏教と音楽

基礎資料・参考文献

地図・年表・索引